

富士中だより

八丈町立富士中学校 平成30年7月13日 第4号

ホームページ <http://www.hachijomachi-ky.ed.jp/fujichu/>

◇ 学校教育目標 ◇
自ら進んで学ぶ生徒
人や自然を愛する生徒
健康でねばり強い生徒
《校訓：自主・敬愛・根気》

思考力を身に付ける・考える事を習慣づける

ご自身のお子様か幼少の頃、「どうして〇〇は～なの？」と、盛んに聞いてきた時期があったと思います。私も始めの頃は疑問をもってくれたことが嬉しくて丁寧に答えていたのですが、そのうち段々と雑に答えてしまっている自分に気が付き反省した思い出があります。

「学習とは考える練習である」という言葉があります。今の時代は先行き不透明で、なかなか正解が見出せない、見出しにくい状況にあります。だからこそ、義務教育の時代に「疑問をもつ」「自分の頭で考える」という習慣を付けておくことが大切です。その仕上げが中学校での学習となります。

国は、「全国のどの地域で教育を受けても一定の水準の教育を受けられる」ように、各学校でカリキュラムを編成する際の基準を定めています。これを「学習指導要領」といいます。ご家庭で話題となる言葉では有りませんが、今年度より新しいカリキュラムの一部が全国の小中学校でスタートしました。

高度な技術と機械化により、10年後・20年後の社会がどうなっているかは誰も予測不能です。この課題解決のために掲げられたテーマが「主体的・対話的で深い学び」です。

このテーマは新しい時代の子供たちの資質・能力を育むために求められる学び方ですが、これは教師の教え方に変化を求めるものでもあります。『将来の予測が難しい社会の中でも、未来を作り出して行くために必要な資質・能力を確実に育む教育』『未知の社会を生き抜く力を育む教育』という視点です。

岐阜県にある「未来工業株式会社」を紹介するテレビや記事がありました。この会社は「日本一幸せな会社」「超ホワイト企業（ブラック企業の反対）」と言われ、ノルマ・残業一切禁止、定年70歳、育児休暇3年（何度でも）、年間の休暇は有給休暇を除いて140日、しかも全員が正社員です。ブラック企業・ブラック職場等、人を消耗品扱いし、人を人と思わない企業や会社が多い中、びっくりするくらい人に優しい会社です。

経営理念は「常に考える 何故・なぜ・なぜ」で、商品の開発件数は年、300～500件、改良を加えると1000件を超えるそうです。商品の中で特に有名なのは、「スイッチボックス」と呼ばれている製品で、家庭やオフィス・工場などの電源ボックスにコンセントなどの配線器具を取り付ける際、壁に埋め込む物です。内装で壁に板を取り付けてしまうと壁の中の配線器具の位置が分からなくなってしまいます。

電気工事をする人にとってボックスを探して正確に穴を開ける作業は、大変技術を必要とするものでした。そこで、この会社のスタッフたちは知恵を出し合い、ボックスの上下に金属テープを貼って金属探知機で電源ボックスを探し当てるシステムを開発しました。この商品は国内70%という圧倒的なシェアを誇っています。

未来工業の2万点を超す商品のほとんどが、「なるほど、こんなものが欲しかった」というアイデア商品です。会社の壁のいたるところに「常に考える」のスローガンが吊り下げられたり貼り出されています。社員の皆さんはこの会社理念を実行し続け、中には年に50件以上の提案をする社員もいるそうです。（日本でいちばん大切にしたい会社2 坂本光司著 参照）

義務教育の中で中学校での生活は、わずか3年間。授業・道徳・生徒会・委員会・部活動・行事、そして家庭でも・・・、今よりも少しでもいいもの・素晴らしいもの・発展したものを求めて、「常に考える、考える、考える」・・・、そして、「考えたことを行動に移す」。本校の生徒には、このことを習慣付けさせたいと考えています。

職場体験学習

6月6日(水)～8日(金)の3日間、2年生が職場体験を行いました。事業所で働かせていただく本番に向けて、電話連絡の練習をしたり、マナーや礼儀について学んだり準備をしてきました。「仕事を選ぶ時に重視すること」を考えた際は、「自分の趣味や特技を生かせる」ことを重視したいという意見の生徒が多かったです。職場体験当日は、緊張しながらも一生懸命働いている姿がとても印象的でした。



～生徒の感想より～

○保育園に職場体験に行くまでは、懐いてくれなかったらどうしようとか心配なことが色々ありました。1日目から小さい子たちがたくさん来てくれて、行っていないクラスの子たちも名前を覚えてくれてすごうれしかったです。職場体験前の心配も忘れませんでした。3日間たくさん学んだことをこれからの生活に生かしていきたいです。

○今回の職場体験を通して、仕事は本当に大変だと身に染みて思いました。ずっと立ちっぱなしは足が痛くなり、休みも昼食の時のみなので、働くことは大変なんだと思いました。

○働くことは、自分が生きるためなどもあるけど人のためにも働いているのだなぁと思いました。

○1日目の朝、とても緊張していました。何回も持ち物を確認して家をでました。保安検査場の見学では安全に対する意識が強いことがよくわかりました。練習で搭乗手続きをさせてもらい、慣れないパソコン操作は難しかったです。3日間緊張で疲れましたがとても貴重な体験をさせてもらい楽しく、勉強になりました。

○学校主事の仕事を体験して1人でやっているとは思えないような大変な仕事だったり、仕事の量が多かったりしてびっくりしました。普段何となく過ごしていたけどそれは主事さんのおかげなんだと思いました。

○3日目に1番印象に残ったことは、野良や捨てられた動物たちについてです。無責任な人たちによって命を落としてしまったり、危ない目にあったり、悲しくて人間に慣れなくなっている動物たちに自分ができるところを少しでもやりたいと思いました。動物は簡単には飼えないし、ただかわいいかわいはいだけじゃないと改めて思いました。動物病院で「命の大切さ」と「動物と過ごす楽しさ」について学びました。

○品出しの際はきれいに並べて、お客様が取りやすいようにする、人を気遣って作業することを学びました。販売系の仕事以外でも、相手のことを考え相手を思いやることが大事なのだと思います。

職場体験後は職場体験録新聞を作成し、発表会を行いました。職場体験学習は将来に向けて今の自分に必要なことは何か、また、「働く」ことについて一人一人が深く考える貴重な機会となりました。



今年度は24の事業所の方々にお世話になりました。

八丈町役場、八丈町立図書館、消防本部、八丈島警察署、農林水産総合センター、八丈ビジターセンター、むつみ保育園、むつみ第2保育園、若草保育園、大賀郷小学校、八丈民芸やました、あしたば加工工場、給食センター、大興園、ゆーゆー牧場、八丈ストア、Can Do、八丈島薬局、八丈書房、宝亭、Sorato、八丈動物病院、三根郵便局、八丈空港
の皆様

お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。

道徳地区公開講座

6月23日（土）に道徳地区公開講座が行われました。今回の道徳のテーマは、「克己と強い意志」です。保護者の方や地域の方にもご参加いただき、ありがとうございました。

3 学年 風に立つライオン さだまささんが作詞・作曲した「風に立つライオン」をテーマに、人生の岐路に立った時にどのようなことに価値を置いて選択するかを考えました。本資料は、アフリカへの医療活動に身を投じた主人公が日本に残してきたかつての恋人からの手紙を読み、自分の意志を貫きアフリカへ旅立った、かつての選択が正しかったことを確認し、彼女の結婚を心から祝福するという内容の歌です。「自分の夢を叶えるために大切なことは何か」を考え、自分自身の進路に役立てられることを願っています。



2 学年 5 度目のエベレスト 先月8度目のエベレスト登頂に挑み、悲願の登頂前で命を落とした、登山家の栗城史多氏の生き方を題材にして、強い意志や諦めない気持ちの大切さについて考えました。前時の授業で、凍傷で9本の指を失い何度も命の危機にさらされながらも、エベレスト登頂という目標にこだわって挑戦する栗城氏の姿に共感できるかどうかという議論を行いました。それを踏まえて、目標達成まで絶対に諦めなかった栗城氏の姿を、今後様々な困難に直面しながら生きていく未来の自分と重ね合わせながら、考えました。



1 学年 一本の電話 2週間後に高校入試を控えた主人公の、陸上部のスカウトを受けて志望校に進学するか、野球部を続けてひたすら受験勉強に勤しむか、心の葛藤を自分に置き換えて考えました。自分の夢のために目の前の好きな事をあきらめるか、両方を実現するために敢えて難しい道を選ぶか、その選択において、何を最も重要視しなければならないのか、みんなで話し合いました。生徒の中には将来の夢をもっている生徒が多く、それに向けて今何をしなくてはならないかを考えるきっかけになったと思います。



講演会「半ケツとゴミ拾い～たった一人から全世界10万人へ～」荒川 祐二 氏

荒川さんの言葉は、等身大の話し方で親しみやすく、生徒の心にしっかりと届きました。関西弁独特の冗談も交えながらの面白い、荒川さんのお話により、多くの生徒は目を輝かせて耳を傾けていました。自分が嫌いだっ学生時代、誰にでもできる「ゴミ拾い」という活動から自分だけではなく世界までも動かした荒川さんの体験談は、将来について悩んでいたり自信がもてなかったりしている人たちに「あきらめない心」を抱かせる勇気になりました。今回の講演によって、生徒たちの可能性がよりいっそう広がることを願っております。



八丈語短歌・俳句コンテスト(生徒会主催)

最優秀短歌 1年 玉置妃瑠

八丈の アウエー海と アケー日 (夕日) は 世界のどこより デージキャノー

最優秀俳句 1年 玉置昊大

夏の日に ケイはホトウル 海ゲ行く

1学年優秀賞 石井吾垂

梅雨晴れの 海はコゲイル まだ早い

2学年優秀賞 福地葵

砂浜に 埋もれて見えぬ 恋心

いつかは シケ (波) に さらわれていく

3学年優秀賞 鶴見優心

ホトウル日 海でヨの子と 競争だ ヨの子が速くて 少しトシラシイ

生徒会では生徒に八丈語への愛着を少しでももってほしい
と思い、八丈語短歌・俳句コンテストを実施しています。
八丈語に触れながら、それぞれ工夫を凝らした一句を作っ
てきてくれます。消滅危機言語に指定されている八丈語を
大切に作る気持ちを持ち、八丈島という地域を愛する心が
生徒たちに芽生えてくれればと思っています。

学習教室について

●学習教室 (前半) 7月23日(月)~27日(金),

(後半) 8月27日(月)、28日(火)、29日(水) 8時10分~10時00分 各学年教室、学習室にて

※前半は宿題・自習・教科の補充学習、後半は主に終わっていない宿題を中心に行います。

※8月27日(月)は登校日で、宿題提出となります。

●3年生夏期講習(八丈高校の先生による出前授業)

7月23日(月)~28日(金) 9時10分~10時00分 3A教室

※3年生は学習教室の後半で夏期講習を行います。(8時10分~9時00分は学年の学習教室となります。)



水泳教室について

夏休みの水泳教室を7/24(火)~7/27(金)の4日間、実施します。2回以上参加することが宿題となっています。積極的に参加してください。上京等で参加できない場合は、水泳に関するレポートを提出することになっています。夏休みも積極的に運動をして、体力向上を目指しましょう。

陸上記録会(第58回)練習について

○夏季記録会練習 8月27日(月)・28日(火)・29日(水) 10時00分~12時00分

○標準記録突破会 8月30日(木) 9時00分~10時00分

先日、ご案内のプリントを配布いたしましたが、今年度の陸上競技記録会は第58回目の大会となり、三原中学校が会場となります。夏休みの陸上競技記録会の練習会を上記の3日間行います。詳細につきましては別途プリントでお知らせいたしますので、ご確認をお願いいたします。

7・8・9月の主な予定

7月19日(木) 終業式

7月20日(金) 午前中授業

野球、バレー、テニス遠征

7月23日(月)~27日(金) 学習教室

7月24日(火)~27日(金) 水泳教室

8月27日(月)~29日(水) 記録会練習

8月30日(木) 標準記録突破会

9月2日(日) 校庭整備

9月3日(月) 始業式

9月4日(火) 避難訓練

9月11日(火) 体育的行事前検診

9月12日(水) 運動会予行

9月16日(日) 運動会

9月30日(日) 記録会